

つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）開設記念講演会・第1回医学医療系研究発表会を開催しました

病院総務部総務課 医学医療エリア支援室

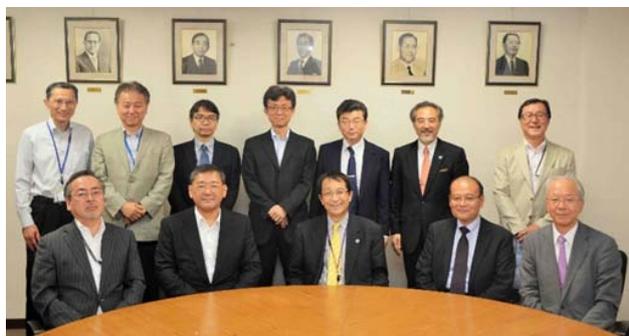
平成27年7月6日（月）18時から本学臨床講義室Aにおいて、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）開設記念講演会並びに第1回医学医療系研究発表会を開催しました。

第1部のつくば臨床医学研究開発機構開設記念講演会では、松村 明 附属病院長、永田 恭介 学長、成田 昌稔 厚生労働省大臣官房審議官のあいさつがありました。引き続き、北條 泰輔独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事（技監）から「革新的医薬品・医療機器の創出とPMDAの役割」、浅島 誠 つくばライフサイエンス推進協議会長 から「T-CReDOの開設と今後への大きな期待」と題して来賓講演がありました。第1部の最後に、荒川 義弘つくば臨床医学研究開発機構長から「T-CReDOの紹介」がありました。

第2部は、医学医療系主催の第1回医学医療系研究発表会が行われ、柳沢 正史 国際統合睡眠医科学研究機構長から「睡眠の制御：オレキシンの発見から創薬へ」、渋谷 彰 医学医療系免疫制御医学教授から「免疫受容体を標榜した疾患制御」と題して、基調講演がありました。この後、附属病院けやき棟12階展望ラウンジで交流会を開催しました。

交流会には、本学の教職員、学生、筑波研究学園都市の研究所の方々、他大学の方々、医薬品・医療機器関連の企業の方々など約180名が参加されました。講演会、研究発表会、そして交流会と、活発な意見交換が行われ、T-CReDOに対する期待や事業連携など様々な声を頂戴しました。

T-CReDO、医学医療系では今後ともセミナーや研究発表会を開催する予定です。



学長と講演者を囲んで



講演中の柳沢教授

筑波大学附属病院 地域医療連携懇談会が開催されました

医療連携患者相談センター

平成 27 年 7 月 7 日 (火)、オークラフロンティアホテルつくばに於いて、平成 27 年度筑波大学附属病院地域医療連携懇談会が開催されました。

本会は、地域医療に携わる医療機関や行政等との懇談の場を設け、様々な事柄について意見交換をすることで、相互の医療機能の明確化や役割分担と連携を促進し、患者さんに適切かつ質の高い医療の提供を行うことを目的としたものです。

はじめに、水谷 太郎 副病院長の司会のもとに講演会が行われ、関根 郁夫 腫瘍内科診療グループ長より「筑波大学附属病院 腫瘍内科」について、平松 祐司 心臓血管外科診療グループ長より「心臓血管外科医療の今後の展開」、川崎 彰子 産婦人科診療グループ講師より「筑波大学産科婦人科における生殖医療再開と体外受精の現況」、野口 恵美子 遺伝診療グループ長より「筑波大学附属病院遺伝診療グループ」について、小泉 仁子 副病院長・看護部長より「地域貢献・社会貢献ー看護部ー」についてそれぞれ講演がありました。

続いて実施された懇親会では、原 尚人 副病院長の司会のもと、松村 明 附属病院長、市原 健一 つくば市長よりそれぞれ挨拶があり、続いて各診療グループ代表者の紹介も行われました。

本会には、医療機能連携協定を締結している病院のほか、つくば医療圏やその隣接する医療圏の中で、本院と関わり深い医療機関やつくば市・保健所・消防などの行政の関係者等、約 240 名が参加し、盛況のうちに終了しました。

本会でいただいた各医療機関からの意見等を活かし、今後より一層の緊密な医療連携の構築を図ってまいります。



挨拶される松村附属病院



挨拶される市原つくば市長



懇親会の様子



懇親会の様子

ベトナム南部の拠点病院・チョーライ病院との医療技術協力プロジェクトが始まりました

病院総務部総務課

筑波大学附属病院では、国立国際医療研究センターが実施している「平成 27 年度医療技術等国際展開推進事業」の一環として、平成 27 年 7 月から 12 月までのプロジェクトとして「ベトナム南部の拠点病院・チョーライ病院での医療技術協力」を開始しました。本事業の目的は「ベトナム南部の拠点病院であるチョーライ病院への医療技術協力を通して、南部ベトナムの医療水準の向上に寄与し、同地域の住民に対する医療提供の改善に貢献する」ことです。

チョーライ病院は 1974 年に日本の無償資金協力により建設されたベトナム南部最大の病院で、国際協力事業団（のちに同機構）が長年支援を行い、さらに筑波大学附属病院でも 2008 年から協力覚書を交わし、心臓血管外科、脳外科等を中心に支援を行ってきました。

チョーライ病院は小児科・産婦人科を除くいわば成人を対象とした総合病院で、2014 年の統計では病床数 1,800 床、外来患者数延べ約 135 万人／年、入院患者数延べ 884,395 人／年、総手術件数 38,744 例／年という巨大病院です。

これまでの日本の協力もありチョーライ同病院が地方レベルの病院を直接指導することなどにより同病院への協力が南部ベトナムの医療の向上に繋がることが期待できます。

また、7 月中旬に本プロジェクトの全体計画策定の話し合いのため 秋山 稔 国際連携推進室長 がチョーライ病院に赴き病院幹部等、と協議した結果、今後の支援体制として、集中治療（ICU）、心臓血管外科、脳外科、消化器外科、循環器内科、内視鏡の 6 部門で特に集中治療では看護を主とした支援協力を実施する予定です。支援内容として、本院から 18 名の医師を現地に派遣し、チョーライ病院から本院に 14 名の研修医を受け入れる予定です。また、11 月には主に南部ベトナムの約 20 の省病院、ホーチミン市の約 10 の病院を対象に「術後管理セミナー」を計画しており、本院からの講師の派遣とともにチョーライ病院や省病院からの症例発表等もあり、南部ベトナムの医療の質向上に寄与することが期待されます。さらに、従前から実施してきた本院とチョーライ病院間の遠隔医療カンファレンスも実施予定です。



チョーライ病院



消化管外科との個別会議



全体会議でプレゼンテーションをする秋山室長



同左：(中央が室長、向かって左が筑波大学ホーチミン事務所 Phuong 職員)

台北医学大学学生一行が来院

病院総務部総務課

7月3日(金)、台北医学大学学生一行10名が本院を来訪しました。学生一行は、アジア各国の医学生と共に保健医療の向上を目指し、ヒューマンネットワーク構築を目的とするアジア医学生連絡協議会(AMSA)主催の「医学生の短期交換留学プログラム」を利用して来日しました。

はじめに、陽子線医学利用研究センターにて秋山稔国際連携推進室長より歓迎の挨拶及び病院概要について紹介があり、引き続き、陽子線治療及び同センター概要について、ビデオによる紹介とともに、榮武二同センター教授(医学医療系医学物理学)から陽子線治療に関する詳しい説明がありました。

その後、同センターの照射室と加速器、院内の見学が行われ、学生一行からは、陽子線治療に関して活発な質問がありました。

今後の長期間にわたる双方の医学交流が続くことに大きな期待がもてる来訪となりました。



陽子線センター会議室にて



質問に答える榮教授



陽子線センター内・加速器見学



病院見学(救急入口)

平成 27 年度筑波大学附属病院ボランティア総会を開催

病院総務部医事課

7月1日（水）に特別第三会議室において、平成27年度筑波大学附属病院ボランティア総会が開催されました。本総会は、ボランティア相互の親睦と情報交換を目的に毎年開催されているものです。

はじめに、小泉看護部長（看護・患者サービス担当副病院長）及び岩堀ボランティア代表から挨拶がありました。その後、平成26年度活動及び会計報告、平成27年度ボランティア活動計画案の説明があり、審議の結果了承されました。さらに、医事課の担当者から、患者図書室の開設に向けた図書室の整備及び配架予定の医学専門書等の準備状況について説明がありました。

引き続き、参加者のボランティア一人ひとりから、日々の活動を通しての感想が述べられ、職員との意見交換も行われ、会は始終和やかな雰囲気で行われました。



挨拶される小泉看護部長



総会を進行される岩堀ボランティア代表



ボランティア総会の様子

「七夕コンサート」を開催

病院総務部医事課

7月16日（木）16時から、恒例の七夕コンサートがけやき棟1階けやきプラザにて開催されました。

コンサートでは、医学フィルハーモニー（本学学生）と関係教職員による弦楽器の多彩な演奏が披露され、けやきプラザは大勢の患者さんで賑わいました。

演奏曲は、「ロンドン・トリオ」第1番を始め、「となりのトトロ」、「アンダー・ザ・シー」、「少年時代」など6曲を披露され、最後に、「七夕さま」を来場者全員で合唱しました。会場は、賑やかな雰囲気にもまれ、夏の楽しいひと時を過ごしました。



七夕コンサートの様子



「七夕さま」を合唱の様子



医学フィルハーモニー（本学学生）と関係教職員による記念写真

けやき棟 12 階展望ラウンジにて「七夕星まつり」を開催

病院総務部整備推進課

7月23日（木）15時半から17時半まで、けやき棟12階展望ラウンジにて、「七夕星まつり」を開催しました。このイベントは筑波大学で宇宙をテーマにボランティア活動をしている団体、「UNICO」によって企画されたものです。

当日はランプ作りや星のボディペイント体験、映像コンテンツで宇宙を擬似旅行する等、内容ごとにブースを設け、来場者には会場を自由に回ってもらいました。

入院患者さんから病院職員まで、様々な方と少し遅めの七夕を楽しみました。



宇宙についての講話をする UNICO 学生



ランプ作りの様子

◎ 6月紹介患者月別調査表

	(A) 紹介患者 数 (人)	(B) 逆紹介患 者数 (人)	(C) 救急自動車による 搬入患者数(人) (上記のうち初診患者数 をC' とし、内数で表す)	(D) 初診患者数(人) (上記のうち休日等6 歳未満患者数を D' と し、内数で表す)	医療法上 の紹介率 (A+B+C') ÷ (B+D) (%)
6月	1,865	1,383	232	2,169	91.9

◎ 6月院外処方せん発行枚数等

	診療 日数 (日)	発行処方せん 総枚数(枚)	うち 院外発行処方 せん枚数(枚)	院外処方せん 発行率(%)	1日平均 処方せん 枚数(枚)	1日平均院外 処方せん枚数 (枚)
6月	22	16,783	15,064	89.76	762.9	684.7

◎ 6月曜日別外来患者数

	曜日	月	火	水	木	金
6月	平均	1,696人	1,478人	1,638人	1,780人	1,593人
	最高	1,812人	1,571人	1,756人	1,989人	1,658人
	最低	1,568人	1,382人	1,518人	1,665人	1,515人

◎ 6月患者数

	入 院			外 来	
	延 数 (人)	1日平均数 (人)	病床稼働率 (%)	延 数 (人)	1日平均数 (人)
6月	21,391	713.0	89.1	36,120	1,641.8

病院ニュースは、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/innai/news/> (院内のみ)

病院 HP でも一部抜粋して掲載しています。

<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/>

「病院ニュース」の次回(444号)の発行は9月30日(水)、原稿締切りは9月24日(木)となります。

「病院ニュース」への寄稿に際しては、できる限り電子ファイル等をお願いします。

なお、掲載情報については、文教速報(官庁通信社発行)等学外へ提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

e-mail:hsp.somuka@un.tsukuba.ac.jp 病院総務部総務課総務担当(3519, 3521, 5788)